

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	10	項	05	目	05
事務事業名	交流促進施設管理事業(大盛館)								
担当部署	生涯学習部生涯学習課協和公民館	2801367	電話	018-892-3820			内線		

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	02:未来を創り心豊かな人を育むまちづくり
	施策の大綱	03:芸術、文化の振興
	施策	01:芸術、文化活動の振興
	施策の内容	03:芸術・文化活動団体等の育成・支援
根拠法令等	大仙市協和自然資源等活用型交流促進施設条例・大仙市協和自然資源等活用型交流促進施設管理運営規則	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	山村の伝統芸能、行事、民俗資料の伝習保存、展示を通して住民の交流を積極的に推進し、文化的潤いのある地域社会の形成を図るため
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	市民
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①重要な歴史及び文化に関する資料の収集、整理、保存及び展示に関すること ②資料の解説及び広報活動に関すること ③交流促進施設の維持管理に関すること ④交流促進施設の利用に関すること
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	①施設利用機会の拡大、利用率の向上 ②芸術・文化活動の参加機会の拡大

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 開館日数	日	232	302	246
	②				
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 施設利用人数	人	2,610	2,240	2,043
	②				
	③				
投入コスト	決算額		5,159千円	5,273千円	5,658千円
		一般財源	5,159千円	5,273千円	5,658千円
	人件費		714千円	885千円	853千円
		一般職員の年間従事人数	0.1人	0.1人	0.1人
		一般職員以外の年間従事人数	0.0人	0.1人	0.1人
	総コスト (決算額+人件費)		5,873千円	6,158千円	6,511千円

事業を取り巻く環境	平成21年7月18日「協和鉾山と松田解子文学を伝える会」発足 運営委託料 357,000円 委託業務 ①大盛館内、荒川鉾山跡地の案内等 ②松田解子文学及び旧荒川鉾山、旧宮田又鉾山等の研究 ③大盛館の資料入れ替え及び企画展、その他文献の整理 ④大盛館敷地内の顕彰記念碑等の環境整備 ⑤図書、出版関係等の頒布 平成23年3月11日東日本大震災で電力不足のため3/14~3/31休館となった。
-----------	--

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	大盛館は古代人が大仙市協和の米ヶ森遺跡(旧石器時代)で優れた文化を育んでいた時代から、全国有数の銅山に発展し、一時代を築いた荒川鉦山・宮田又鉦山の盛衰の軌跡を展示している。小・中学校の校外学習や鉦山研究者、松田解子文学記念室に来訪者が多く、荒川鉦山の歴史的な価値を伝えるためにも、大仙市で運営する必要がある。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	A
	評価の理由	平成21年7月より「協和の鉦山と松田解子文学を伝える会」を発足し、運営委託業務を開始している。会員は大盛館内の案内や荒川鉦山跡地の案内など行い、また、資料の入れ替え及び企画展、文献の整理などをして、文化的遺産を後世に伝え、地域づくりに貢献している。 平成21年度より冬期間開館し、平成22年度は大盛館案内看板を更新し集客に努めている。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	運営委託業務を開始したことで、専門的で質の高い展示や案内、環境整備等を実施している。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
現状	C 拡大 D 縮小 E 廃止 F 終了	館内に展示されている貴重な資料を教材として活用し、郷土学習を広く展開していく。その為にも「協和の鉦山と松田解子文学を伝える会」とよく連携し、市内外の誘客に努める。